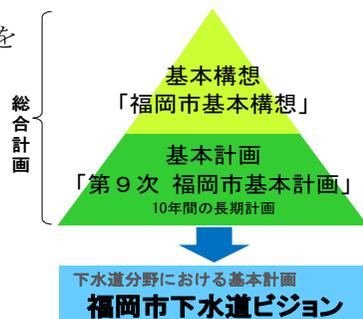


## 1. 計画の概要

本ビジョンは、総合計画に基づき、下水道分野を総合的・計画的に推進するための基本計画として位置づけるものであり、目指すべき将来像とそれを達成するために取り組む、今後10年間（H29～38年度）の施策目標や成果指標を示すもの。



## 2. 長期ビジョン【「基本理念」と「目指すべき将来像」】

災害リスクの増大や少子高齢化などの社会経済情勢の変化や施設の老朽化等、今後の課題を踏まえ、重要な社会基盤として下水道が持つ使命と役割を持続的に果たすため、「基本理念」と「目指すべき将来像」を下記のとおり、とりまとめたもの。

**基本理念** 『快適な暮らしを守り、都市の魅力を高め、未来につなげる下水道』

### 1 目指すべき将来像 1 時代の変化を先取りし、暮らしを支え続ける下水道

- ❖ 持続可能な次世代下水道への進化
- ❖ 最適な下水道サービスの提供
- ❖ 災害に強い強靱な下水道

### 2 目指すべき将来像 2 ポテンシャルを活かし、豊かな環境を創出する下水道

- ❖ 健全な水環境の創出
- ❖ 水・資源・エネルギーの供給拠点
- ❖ 低炭素・循環型社会の実現

### 3 目指すべき将来像 3 新たな価値の創造へ、チャレンジする下水道

- ❖ 見える・魅せる下水道
- ❖ 地域を引っ張る下水道のリーダー都市
- ❖ 世界をリードする技術開発拠点
- ❖ 国際貢献・水ビジネスのハブ都市

## 3. 施策目標と成果指標

長期ビジョンの実現に向け、中期計画として今後10年間（平成29～38年度）に取り組む6つの施策目標と16の主要施策を下記のとおり、とりまとめたもの。

### ■ 施策目標と主要施策

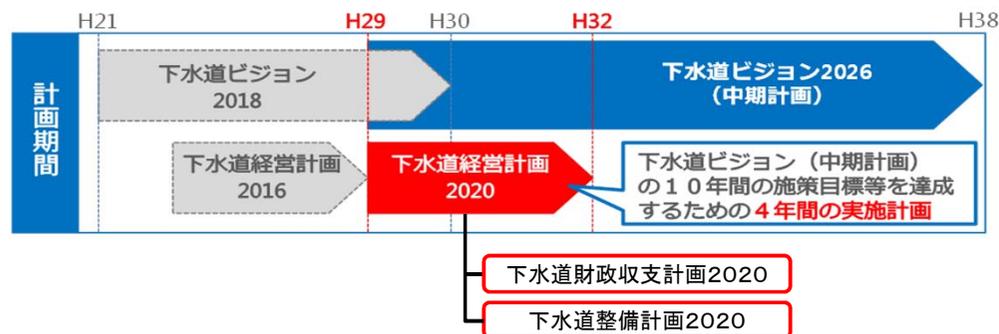
施策目標	主要施策
I 持続可能な下水道システムの構築	I-1 主要施設の再構築 I-2 下水道施設の適切な維持管理・更新 I-3 経営基盤の強化 I-4 組織体制の強化・人材育成
II 災害に強い下水道	II-1 浸水対策の推進 II-2 地震対策の推進
III 健全な水環境の創出	III-1 汚水処理の最適化 III-2 合流式下水道の改善
IV 低炭素・循環型社会への貢献	IV-1 下水処理水の有効利用 IV-2 下水汚泥等の有効利用 IV-3 地球温暖化対策の推進
V 身近な下水道	V-1 市民理解の促進 V-2 「見える化」の推進
VI 地域活性化への貢献	VI-1 地域社会への貢献 VI-2 技術開発の推進 VI-3 国際貢献・ビジネス展開の推進

### ■ 成果指標

	現状値 (H28年度末見込)	中間目標値 (H32年度末)	目標値 (H38年度末)
中部水処理センターを中心とした主要施設の再構築	検討	検討	実施
下水道管渠（暗渠）の改築更新	—	120km/314km	314km/314km
企業債残高の縮減率	4,003億円	13%削減	20%削減
雨水整備レインボープラン天神の推進（第1期～第2期事業）	第1期事業 実施 第2期事業 検討	第1期事業 完了 第2期事業 実施	第2期事業 実施
雨水整備D oプランの推進	48箇所/55箇所	55箇所/55箇所	55箇所/55箇所
下水道管渠の耐震化	52km/121km	69km/121km	121km/121km
博多駅周辺地区の分流化	260ha/300ha	300ha/300ha	300ha/300ha
天神周辺地区の分流化	62ha/100ha	78ha/100ha	100ha/100ha
再生水利用下水道事業の推進	1,457ha	1,497ha	1,540ha
下水バイオガスの有効利用率	89.0%	92.0%	96.0%

## 4. 実施計画の概要（福岡市下水道経営計画2020）

福岡市下水道ビジョン2026で示された将来像・施策目標等を計画的・段階的に達成していくための実施計画として、下水道経営の基本的な考え方、下水道財政収支計画、下水道整備計画等を示すものであり、公営企業として、経営基盤の強化や経営の効率化を図るもの。



## 5. 下水道財政収支計画の概要

今後確実に訪れる人口減少、使用料収入の減少、維持・更新費の増大等の課題に的確に対応できるよう経営の安定や財政の健全化に努め、**今後4年間は、現状の料金体系を維持**していく。

### I 経営基盤の強化に向けたポイント

#### 自立経営の持続

雨水公費、汚水私費の経費負担区分の原則に基づき、雨水の排除に要する経費は一般会計からの適切な繰り入れで賄い、汚水処理に要する経費は現行の使用料体系を維持して賄うとともに、今後も経営基盤の強化に努めて自立経営を継続する。

#### 下水道サービスの安定的・持続的提供

収入の確保や維持管理の効率化による経費の削減、アセットマネジメント実行計画の実施など、効率的な事業運営に取り組むとともに、人材育成の推進に加え経営状況等を公表し説明責任を果たす。

#### 企業債残高の縮減

緊急性の高い施策への選択と集中、事業費の平準化、国庫補助事業の活用などにより、良好な経営状態を維持し、企業債残高の縮減を図る。

### II 財政収支計画

#### 収益的収支

(消費税抜き 単位：百万円)

年度	収益的収支					単年度損益	利益処分 (減債積立金)	累積損益
	収入				支出			
	下水道 使用料	一般会計 負担金	その他	計				
29年度	28,248	16,876	10,701	55,825	49,281	6,544	6,544	0
30年度	28,434	17,587	10,163	56,184	50,079	6,105	6,105	0
31年度	28,467	17,664	9,979	56,110	50,192	5,918	5,918	0
32年度	28,689	17,771	9,784	56,244	50,186	6,058	6,058	0
計	113,838	69,898	40,627	224,363	199,738	24,625	24,625	0

#### 資本的収支

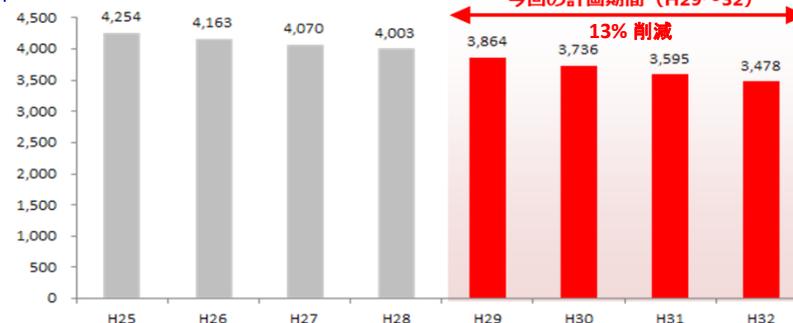
(消費税込み 単位：百万円)

年度	資本的収支						資本的収支 過不足	補填財源 (損益勘定 留保資金 +減債積立 金等)	資金不足額 (一般会計出 資金)
	収入	うち		支出	うち				
		企業債	うち一般 会計負担金		うち公共 下水整備費	うち 企業債 償還金			
29年度	32,706	19,938	4,391	58,013	23,423	33,268	△ 25,307	25,307	0
30年度	32,476	19,225	4,531	58,581	25,382	31,858	△ 26,105	26,105	0
31年度	32,943	19,386	4,666	59,764	25,661	32,747	△ 26,821	26,821	0
32年度	29,645	16,349	4,708	56,476	25,894	29,203	△ 26,831	26,831	0
計	127,770	74,898	18,296	232,834	100,360	127,076	△ 105,064	105,064	0

### III

#### 企業債残高の見通し

今回の計画期間 (H29~32) (単位：億円)



※各年度末時点の残高

## 6. 下水道整備計画の概要

増大する老朽化施設の改築需要に対応するため、「**改築更新**」を最重点で推進する。また、頻発する豪雨の対応として、「**浸水対策**」を引き続き進めるとともに、警固断層帯を震源とする大地震への備えとして、「**地震対策**」を積極的に進めていく。

**全体事業費** 4年間で 約 **1,009**億円

### I 持続可能な下水道システムの構築

**実** 計画期間内に実施 **検** 計画期間内に検討・研究

下水道の役割を適切に果たし、市民の暮らしを支え続けるため、施設の計画的かつ効率的な改築更新を実施する。

#### 改築更新

**事業費** 約 **531**億円 (全体の52.7%)

##### 実 計画的な施設の改築更新

- 管渠：48～57億円/年 (過去4年 38億円/年)
- ポンプ場、水処理センター  
： 70億円/年 (過去4年 48億円/年)

##### 実 西部水処理センターの污泥焼却施設の更新

- 更新に併せ下水污泥固形燃料化施設を導入
- 公告・審査・契約 H29
- 設計・建設工事 H29～H32

##### 実 蒲田下水道管渠汚泥処理場の改築更新

- 本体工事 H30～H32

##### 検 主要施設の再構築

- 基本構想策定に向けた検討

参考：管渠の今後50年間の改築更新需要量  
 総事業費 約2,800億円  
 総改築延長 約1,800km



写真-1 老朽化により破損した管渠

### II 災害に強い下水道

災害から市民の生命・財産を守り、経済活動を支え続けるため、ハードとソフトの両面から、必要な浸水対策、地震対策等を推進する。

#### 浸水対策

**事業費** 約 **245**億円 (全体の24.2%)

##### 実 雨水整備Dプランの推進

- 重点地区のH30年度完了を目指す

##### 実 雨水整備レインボープラン天神の推進

- 第1期事業はH30年度完了を目指す
- 第1期事業完了後、引き続き第2期事業へ

##### 実 ソフト対策の強化

- 浸水想定区域図の策定など

##### 検 雨水整備Dプランの見直し

- 今後の雨水対策を検討



写真-2 施工中の中部2号幹線 (雨水整備レインボープラン天神)

## 地震対策

**事業費** 約 **139**億円 (全体の13.8%)

### 実 重要な幹線管渠等の耐震化

- 緊急輸送路下に埋設される管渠

- 水処理センター・ポンプ場に直結する管渠

### 実 水処理センター及びポンプ場の耐震化

- H30年度完了を目指す

### 検 処理区間のネットワーク化

- バイパス機能確保等に向けた検討



写真-3 熊本地震の被害状況 (益城町)

### III 健全な水環境の創出

健全な水環境を保全するため、未整備区域の解消等を推進するとともに、合流式下水道の改善対策に取り組む。

#### 未整備区域の解消

**事業費** 約 **63**億円 (全体の6.2%)

##### 実 九州大学箱崎キャンパス跡地 (南エリア)

- URによる施工 (直接施行制度を活用)
- H34年度完了を目指す

#### 合流式下水道の改善

**事業費** 約 **24**億円 (全体の2.4%)

##### 実 分流化事業の推進

- 博多駅周辺地区
- 天神周辺地区 (第1期事業)



図-1 博多駅周辺地区 (約300ha)



図-2 天神周辺地区 (約100ha) (第1期事業)

### IV 低炭素・循環型社会への貢献

地球環境の保全に貢献するため、水・資源・エネルギーの再生・創出を図る。

#### 再生水利用下水道事業

**事業費** 約 **7**億円 (全体の0.7%)

##### 実 アイランドシティ

- 開発スケジュールに併せ整備を進める

#### 下水バイオガスの新たな活用

- 引き続き、水素創エネ技術の研究を進める



写真-4 下水バイオガス水素ステーション (中部水処理センター)